

10/04 佐々木洋さんの [「陸」が「ロク」になるという「ロクでもない話」](#)

にコメント

4組 大野正夫

ろくでなし の原稿を興味を持って読ませていただきました。

私は詩吟を6年ほどやっています。

発端は、音痴でも詩吟ができるかなと思ったことと、先生が美人女性で、当時は50代後半、年増のおばさんでした

どちらかと言うと、後の方が理由で入会しました。詩吟は少々調子が外れても、うまくなることを実証しました。詩吟は李白や杜甫の漢詩を吟じますので、1年ほど前より、漢詩に興味湧き、漢詩の会に入会しました。私には壁というものがありません。いつもルールを間違えて怒られています。こちらは古老の男性で怖い方です。

そこで、ろくでなしが、「陸なし」と書かれており、興味がわきました。

漢詩の辞典である「新字源」で、陸を引いてみました。陸は、中国語で、ろく と発音します。多分、昔、ちやいな男のような合成語だったのでは、と思います。

また陸の意味には、平原の意味と、きらびやかな という意味があります。陸子の名前は美辞です。

「そこでろくでなし」とは、「きらびやさがない」というように私は理解できるかなと思いました。

また、興味深い投稿をお願いします。